



間取りづくりアプリ

中学校 第2学年 技術・家庭(家庭分野)「住居の機能と安全な住まい方」

項目	内容
本時の位置	第7時／全8時
展開	<p>1 今までの学習を振り返り、家族の住まい方について考える。 ・快適な室内環境の整え方 ・災害 ・家庭内事故</p> <p>2 課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>快適で安全な住まい方にするにはどうしたらよいだろう。</p> </div> <p>3 ある家族の住まいの平面図から家族構成と住まい方の関係を考える。(個人追究) ・家族構成から、家具などの配置を行い、間取りを作る。 ・家族が増えるなど条件の変化に合わせて、間取りを見直す。</p>  <p>4 班で自分の考えた間取りを交流する。(班での追究) ・家族の願いだけではなく、快適性や安全性の視点から考える。 ・地震に備えて家具の配置を工夫する。 ・祖父母にとって生活しやすい動線を考えたり、騒音についても配慮したりする。 ・作成した間取りや考えを教員に提出する。</p> <p>5 全体交流で学び合う。 ・作成した間取りを大型提示装置に映し出し、学び合う。 ・快適性や安全性の視点から調整して考え、災害に備えた住まい方を交流する。</p>  <p>6 本時の学習を振り返る。 ・自分や家族にとって心地よい住まい方について考え、工夫することができた。 ・家族の願いも考え、これまで学んだ家庭内事故や災害のことも踏まえ、家具等の配置を考えることができた。</p>
期待される学習効果	<ul style="list-style-type: none"> 従来行ってきた紙に書き込んで進める学習に比べ、あらかじめ準備してある間取りや家具パーツをオンライン上で配置するため、生徒が試行錯誤しやすく、また、途中経過を保存しておくことで、自己の変容を把握しやすい。 生徒が教員にオンライン上で間取りを提出することができるため、教員は学習状況を把握しやすく、個に応じた支援がしやすい。

以下の学年・題材・時間においても同様の活用が可能

中学校 第2学年	題材名「住居の機能と安全な住まい方」	第5時／全8時
	題材名「住居の機能と安全な住まい方」	第6時／全8時